

キ 商 工

事業名	商工業育成・助成事業		会計	01	一般会計	予算区分	経常
政策	05	5節 賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	予算科目	款	07	商工費	
施策	5-1	商業の拠点づくりと地域密着型サービスの強化		項	01	商工費	
主管課	商工振興課		目	02	商工振興費		
主管課長	金子 孝行		事業コード	02 — 01			
事業目的	対象（誰を・何を） 商工業団体		意図（どういう状態にしたいのか） 商工業の発展に貢献する。				
事業内容	市内商工業の振興及び地域経済の活性化のため、商店会に対し街路灯等の電気料金に対し補助金を交付する。また、流山共通ポイントカードへの加入促進を図るため行政ポイントを贈呈する。						
指標	街路灯等の電気料金	3,165	千円	決算額	事業費計		5,663,189 円
	発行ポイント数	3,830,000	ポイント		国庫支出金	0 円	
					県支出金	0 円	
					分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
					地方債	0 円	
					その他特定財源	0 円	
一般財源	5,663,189 円						
指標で表すことができない定性的な成果	繰越・継続費の状況		繰越の有無	無	継続費の設定	無	



松ヶ丘商店会 LEDアーチ

事業名	創業支援事業		会計	01	一般会計	予算区分	政策
政 策	05	5節 賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	予 算 科 目	款	07	商工費	
施 策	5-1	商業の拠点づくりと地域密着型サービスの強化		項	01	商工費	
				目	02	商工振興費	
主管課	商工振興課		主管課長	金子 孝行		事業コード	02 — 51
事業目的	対象（誰を・何を） 創業者及び創業予定者		意図（どういう状態にしたいのか） 創業を促進することで地域の雇用創出や経済の新陳代謝を図る。				
事業内容	市町村が実施する、ワンストップ相談窓口を設け、商工会議所、金融機関等と連携し、創業の実現を促進する。また、女性向けセミナーを開催し、参加者の2割程度の創業を目指す。さらに、流山商工会議所を特定支援事業者とし「創業塾」を開催し、経営、財務、人材育成、販路開拓等の知識習得に努める。						
指 標	女性向け創業スクール参加者数	21	人	決 算 額	事業費計		454,468 円
	創業スクール参加者数	13	人		国庫支出金	454,000 円	
					県支出金	0 円	
					分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
					地方債	0 円	
			その他特定財源	468 円			
			一般財源	0 円			
指標で表すことができない定性的な成果		繰越・継続費の状況	繰越の有無 有 継続費の設定 無 前年度からの明許繰越額454,468円				



女性向けセミナーの様子

事業名	ふるさと納税市内特産品等贈呈事業		会計	01	一般会計	予算区分	政策	
政 策	05	5節 賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	予 算 科 目	款	07	商工費		
施 策	5-1	商業の拠点づくりと地域密着型サービスの強化		項	01	商工費		
主管課	商工振興課		主管課長	金子 孝行	事業コード	02 — 66		
事業目的	対象（誰を・何を） 市内・市外を限定しない個人		意図（どういう状態にしたいのか） 寄附金に対する謝礼として、本市のPR及び市内産業の振興を図るため市内特産品を贈呈する。					
事業内容	「流山市を応援したい」という流山市に対する寄附者の想いを募り、その想いを実現させるため、寄附金に対する謝礼として、本市のPR及び市内産業の振興を図るため市内特産品等を贈呈する。6基金において寄附金を受け入れ、受け入れた寄附金（ふるさと納税）については、各基金で積立て、基金の目的に従い役立てる。							
指 標	贈呈件数	1,279	件	決 算 額	事業費計		3,643,546 円	
	ふるさと納税実績額	16,205,016	円		国庫支出金			0 円
					県支出金			0 円
					分担金・負担金			0 円
					使用料・手数料			0 円
					基金繰入金			0 円
					地方債			0 円
					その他特定財源			0 円
一般財源			3,643,546 円					
指標で表すことができない定性的な成果	繰越・継続費の状況		繰越の有無		無	継続費の設定	無	



ふるさと納税の返礼品の一例

事業名	流山本町・利根運河ツーリズム推進事業		会計	01	一般会計	予算区分	政策
政 策	05	5節 賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	予 算	款	07	商工費	
施 策	5-5	特色ある観光の育成と創設	科 目	項	01	商工費	
				目	03	観光費	
主管課	流山本町・利根運河ツーリズム推進課		主管課長	恩田 一成		事業コード	01 — 55
事業目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）				
	・市民及び来訪者 ・地域：流山本町・利根運河地域		流山本町及び利根運河地域における観光振興・活性化を図る。				
事業内容	両地域に存する歴史的建造物を活用し、ギャラリーや飲食店、民芸品等の販売・展示を行う拠点をオープンさせ、来訪者の誘客につとめ、地域の活性化を図る。						
指標	補助金の活用件数	1	件	決算額	事業費計		6,712,894 円
	施設等入館者	81,319	人		国庫支出金	0 円	
					県支出金	0 円	
	イベント入込客数	243,586	人		分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
					地方債	0 円	
					その他特定財源	0 円	
			一般財源	6,712,894 円			
指標で表すことができない定性的な成果	観光交流人口の増加に伴い、地元住民や商店主の活性化に対する意識が向上し、以前の賑わいを取り戻しつつある。		繰越の状況	繰越の有無	無	継続費の設定	無



補助金を活用してオープンした店舗

事業名	流鉄イベント事業		会計	01	一般会計	予算区分	政策
政策	05	5節 賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	予算科目	款	07	商工費	
施策	5-5	特色ある観光の育成と創設		項	01	商工費	
				目	03	観光費	
主管課	流山本町・利根運河ツーリズム推進課		主管課長	恩田 一成		事業コード	01 — 63
事業目的	対象（誰を・何を） 市民、来訪者		意図（どういう状態にしたいのか） 流鉄開業100周年に向けた気運の醸成と、記念すべき好機を観光振興並びに地域の活性化につなげる。				
事業内容	流鉄ピア電車、「普通的女子高生が【ろこどる】やってみた。」の一日駅長並びにライブ、流鉄の日イベント、KITTEでのPRイベント、流鉄開業100周年記念祭を行った。						
指標	各種イベント入込数	21,000	人	決算額	事業費計		2,000,000 円
	流鉄乗降客数	15,264	人		国庫支出金	0 円	
					県支出金	0 円	
					分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
					地方債	0 円	
					その他特定財源	0 円	
			一般財源	2,000,000 円			
指標で表すことができない定性的な成果	流山本町地域にある商店への経済波及効果及び千葉県内ローカル線各社との連携が図れた。		繰越の状況	繰越の有無	無	継続費の設定	無



流鉄100周年記念祭のオープニングセレモニー

事業名	利根運河記念イベント事業		会計	01	一般会計	予算区分	政策
政 策	05	5節 賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	予 算	款	07	商工費	
施 策	5-5	特色ある観光の育成と創設	科 目	項	01	商工費	
				目	03	観光費	
主管課	流山本町・利根運河ツーリズム推進課		主管課長	恩田 一成		事業コード	01 — 65
事業目的	対象（誰を・何を） 市民、来訪者		意図（どういう状態にしたいのか） 利根運河通水125周年を機に、記念式典を実施し、歴史と文化の継承と地域の活性化を図る。				
事業内容	記念式典の実施並びに、利根運河株式会社の名が刻印されている歴史的に貴重な「手水石」を建立。						
指標	記念式典の参加人数	200	人	決算額	事業費計		1,992,160 円
					国庫支出金	1,992,000 円	
					県支出金	0 円	
					分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
					地方債	0 円	
			その他特定財源	160 円			
			一般財源	0 円			
指標で表すことができない定性的な成果	「広報ながれやま」で通水125周年特集を組むなど、広く情報発信ができ、歴史の継承へとつながった。		繰越・継続費の状況	繰越の有無	有	継続費の設定	無
				前年度からの明許繰越額1,992,160円			



利根運河通水125周年記念式典で小学生が歌を披露

事業名	消費者情報提供事業			会計	01	一般会計	予算区分	経常
政策	02	2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）		予 算 科 目	款	07 商工費		
施策	2-5 賢い消費者の育成			項	01	商工費		
主管課	コミュニティ課			目	04	消費生活費		
主管課長	須郷 和彦			事業コード	01 — 02			
事業目的	対象（誰を・何を） 消費トラブルに遭った相談者			意図（どういう状態にしたいのか） 消費トラブルに遭った市民の救済をする。				
事業内容	消費生活に関する専門知識を持った消費生活相談員が、苦情相談を受け被害を最小限に抑える。							
指標	相談件数	1,813	件	決算額	事業費計		11,245,162 円	
	相談解決件数	1,811	件		国庫支出金	0 円		
					県支出金	5,310,355 円		
					分担金・負担金	0 円		
					使用料・手数料	0 円		
					基金繰入金	0 円		
					地方債	0 円		
					その他特定財源	0 円		
			一般財源	5,934,807 円				
指標で表すことができない定性的な成果	消費者の安心で安全な暮らしのため、トラブルの未然防止を図った。			繰越の有無	無	繰越の設定	無	
	繰越・継続費の状況							



消費者啓発パネル展の様子